

事業名	代表者所属	山口大学教育学部
11KJ-019	代表者	准教授 佐伯 英人
冬の星座と皆既月食を観察しよう！	開催地	山口県
	助成金額	10万円
活動概要		
<p>日時：平成23年12月10日(土)～11日(日)</p> <p>場所：国立山口徳地青少年自然の家</p> <p>対象：小学生とその家族</p> <p>参加者(人)：40人                    内訳(小中高の先生；0人)(生徒；18人)</p> <p>内容：・天体望遠鏡制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月食のしくみについて</li> <li>・冬の星座観察と月食観察</li> <li>・オリジナルポストカード作り</li> </ul>		



望遠鏡ってこんなレンズを使うんだね！



あれ？さかさまに見えるぞ！



月食の仕組みのお話



みんなが待っていた皆既日食



5.月食ポストカードの出来上がり！

### 事業の目的・ねらい

- ・学校の授業では観測できない「皆既月食」を、実際に観察することで、太陽・地球・月の関係と月食の仕組みを学ぶ。
- ・自分で望遠鏡を作ることで、観察意欲や学ぶ意欲を高める。
- ・冬の星座をはじめ、観察することで星の動きや星の色の違いに気づく。

### 事業の概要

- 1、天体望遠鏡(組み立てキット)を作り、物の見え方や、望遠鏡の扱い方を学ぶ。
- 2、太陽や月の軌道を踏まえた、月食の仕組みを学ぶ
- 3、510 mm反射望遠鏡を使って、木星やシリウス、ベテルギウスなどの星の色や見え方の違いを確かめる。
- 4、月食の始まり(部分食)から観察することで、欠け方や速さを観察する。また、月食の色を観察し、また記録写真を撮影する。
- 5、撮影した月食写真を元に、オリジナルポストカードを作成する。

### 成果・効果

- ・自分で望遠鏡を作成することで、自分の望遠鏡で星を見たいという観察意欲が大いに高まった。
- ・教科書や図鑑でなく、本物の月食を自分の目で観察することで、「観察」だけでなく「記録」「活用」といった別の視点から天文に興味を持つことができた。
- ・家族での参加とすることで、子供の興味への再認識や発見・体験によるコミュニケーションの場となった。